

『金属 dmit 錯体による磁性・伝導性研究の最前線』

開催日時：平成23年5月13日（金） 13:30-17:30

場 所：独立行政法人理化学研究所 物質科学研究棟 S507

主 催：独立行政法人理化学研究所（加藤分子物性研究室）

協 賛：日本学術振興会・情報科学用有機材料第142委員会B部会

Recent Progresses in Magnetic and Conducting dmit Complexes

Friday, May. 13, 2011 13:30-17:30

S507, Materials Science Building, RIKEN

Contact: Condensed Molecular Materials Lab. (Tel. 048-467-9410)

\*\*\*\*\*

金属 dmit 錯体はその基底状態として、金属・超伝導・スピン液体・Valence Bond Solid・電荷分離などの多彩な相を示す物質群として近年注目を集めている。さらに微小単結晶での低温物性測定技術や、超高压技術・超高速光測定技術などの進展により、これまで測定が困難であった領域での物性研究が可能となってきた。本研究会ではこうした物性面での新展開に加えて、新物質開発の最新成果についても発表と議論を行う予定である。

\*\*\*\*\*

§1 金属 dmit が示す量子相 【座長：山本浩史（理研）】 13:30-14:45

- ・ NMR によるフラストレート三角格子  $X[\text{Pd}(\text{dmit})_2]_2$  系における新奇磁性・超伝導の研究  
【日本物理学会・若手奨励賞記念講演】（30分） 伊藤 哲明（京大）
- ・  $X[\text{Pd}(\text{dmit})_2]_2$  混晶塩の量子スピン液体における熱異常  
(15分) 山下 智史（理研）
- ・ フッ素化されたアンモニウムを対カチオンとする  $M(\text{dmit})_2$  塩およびセレン類似体の物性  
(15分) 野村 光城（理研）
- ・  $\beta\text{-Me}_4\text{N}[\text{Pd}(\text{dmit})_2]_2$  の圧力下における  $^{13}\text{C}$ -NMR 測定  
(15分) 大塚 慶（学習院大）

§2 金属 dmit における電荷分離 【座長：山下智史（理研）】 15:00-15:55

- ・ 時間分解分子振動分光法を用いた  $\text{Et}_2\text{Me}_2\text{Sb}[\text{Pd}(\text{dmit})_2]_2$  完全電荷分離相における光誘起現象の解

明

- (15分) 深澤 直人 (東工大)  
・電荷分離相転移を起こす Pd(dmit)<sub>2</sub> 塩における光誘起相転移ダイナミクス
- (10分) 石川 忠彦 (東工大)  
・Et<sub>2</sub>Me<sub>2</sub>Sb[Pd(dmit)<sub>2</sub>]<sub>2</sub>における電荷分離相の光誘起融解の理論
- (15分) 西岡 圭太 (分子研)  
・Pd(dmit)<sub>2</sub> 塩の圧力下における熱的性質
- (15分) 田中 友樹 (東邦大)

§3 新物質と今後の展望 【座長：伊藤哲明 (京大)】 16:15 - 17:15

- (15分) 草本 哲郎 (理研)  
・ハロゲン結合に基づく Ni(dmit)<sub>2</sub> アニオンラジカル塩の構造-物性制御
- (15分) 崔 亨波 (理研)  
・超高压下における単一成分分子性結晶の電気的性質
- (30分) 加藤 礼三 (理研)  
・金属-ジチオレン錯体を用いたパイ電子物性開発  
【日本化学会・学術賞記念講演】

17:30 - 懇親会 (広沢クラブ：参加費1000円)

\*\*\*\*\*

[問い合わせ先]

独立行政法人理化学研究所 加藤分子物性研究室 山本浩史

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1

Tel.: 048-467-9410; Fax.: 048-462-4661

e-mail: yhiroshi@riken.jp

[参加申し込み]

氏名, 所属, 住所, 電子メールアドレス, 出席人数, 懇親会参加の有無を明記の上, 5月9日までに上記 Fax. または e-mail にてお申し込み下さい。

[個人情報に関する取扱について]

ご記入いただいた個人情報は, 参加者の集計および主催者からの連絡に利用させていただきます。

\*\*\*\*\*